

# チー ム 身 延



身延町立身延小学校  
Tel 0556-62-0066  
Fax 0556-62-0368

学校の理念：「すべての子どもに笑顔があふれる学校を・・・」

9月7日（火）は、二十四節気の白露です。春にやってきたツバメ達が町を去って行く季節になりました。

白露とは、露が降り、白く輝くように見える頃という意味です。夜の気温がぐっと下がって空気中の水蒸気が冷やされると、水滴になって葉や草花につくようになります。それが露（朝露）。日中はまだ残暑が続いていますが、朝夕は秋らしい気持ちよさになりました。二十四節気では、白露の前は暑さがおさまる頃という意味の「処暑」、白露の次は昼夜の長さがほぼ同じになり、秋の夜長に向かう「秋分」となります。日本特有の季節の移ろいを感じながら過ごしていきたいですね。



身延小の中庭で可憐に咲く秋桜



最前列でテープカットを行う身延小児童会役員

身延インターチェンジ開通式 最前列に居るのが、遠藤侖児童会長（中央）、畑野泰生副会長（左）、田村千遥副会長（右）です。記念すべきテープカットを行いました。心も爽やかに心地よく山梨静岡間を駆け抜けられるといいですね。コロナ禍にあって素敵なニュースでした。3名の児童会役員の皆さん、ありがとうございました。

## 第2保健室を設置（感染症対策）



朝の検温と健康観察カードのチェックの様子！

山梨県知事から発令された「コロナ蔓延防止措置」と、感染症レベルが2に引き上げられた結果を踏まえ、身延小学校でも始業式の日から、非接触型体温計を使っての体温チェックと、健康観察カードのチェックを行っています。ご家庭の皆様には、今まで以上に細かい記入や観察等、対応していただき感謝しております。

感染状況によっては、状況が刻々と変わる場合がございます。その都度早めに対応して参ります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

第2保健室が完成しました。1年教室の横に仮設の保健室を設置しました。発熱や風邪症状で早退する場合のお迎えは、一時的ではありますが、中庭に入って、1年の教室を通り過ぎた左側の非常口から下校することになります。正面玄関で、受付を済ませたら、中庭へお回りください。期間限定ではありますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



1年教室の横に設置した保健室



第2保健室の中の様子

# 2学期も「優しい風を吹かせていきましょう！」

いよいよ2学期がスタートしました。今学期も感染症に対して、今まで以上に緊張感をもった2学期になります。子どもたちはもちろんのこと、保護者の方々や地域の皆様、くれぐれも自分の心と体をいたわりながらお過ごしください。何よりも健康第一です。

この季節になると、決まって思い出す句があります。それは、南部町に勤務した頃に校長室の前に掲げてあった飯田龍太氏の「どの子にも涼しく風の吹く日かな」という俳句です。暑い夏だからこそ、木陰、風、水の流れなどから涼しさをより格別と感じることができます。

私たち大人（保護者や教職員）は、優しい風に吹かれることも大切ですが、自分から子どもたちや、周りの人々に優しい風を吹かせていくことを優先する必要があります。優しい風に吹かれた人は、必ず誰かに優しい風を吹かせることができます。その優しさが連鎖して広がり、人と人との関係が優しさに包まれていきます。自ら吹かせる優しい風は、穏やかで温かい家庭、学校、地域を創っていく始まりになると信じています。



1学期、保護者の方々や地域の皆様のご対応を間近に見させていただく中で、ひしひしと感じていたことがあります。それは、大人として、保護者として、時にはカウンセラーとして、子どもたちに安心感と勇気と希望（優しい風）を与えて（吹かせて）くれていたことです。子どもたちと真摯に接する姿を何度も見ました。頭が下がる思いです。

2学期もよろしくお願ひします。

## 学級役員紹介

令和3年度 2学期学級役員		
学年	役職	氏名
2学年	会長	桑名 香帆
2学年	副会長	池上 陽まる
3学年	会長	望月 葵衣
3学年	副会長	諏訪 心彩
3学年	副会長	畑野 華音
4学年	会長	渡邊 花菜
4学年	副会長	田村 莉士
5学年	会長	沼澤 幸成
5学年	副会長	佐野 里菜子
6学年	会長	渡邊 夢以
6学年	副会長	高山 いまり

各教室で、各学年のリーダーに学級役員認証状を渡しました。1学期の学級役員にも、起立を促し、バトンをつなぐ大切さを確認しました。そして、全児童に協力とサポートの依頼をしました。



運動会の練習が始まります。学年が、全校が、一つにまとまり取り組むのが体育的行事の「運動会」です。取り組む過程、取り組む姿勢を大切にしながら9月25日（土）を迎えたいと思います。

145名の仲間と共に運動会の成功に向けて一人ひとりがもてる力を結集し取り組んでいきます。

これからの生活に向けて……。友だち同士の温かな声かけや、われわれ大人（家族、地域の方々）の励ましの言葉からは、不思議なパワーをもらえます。「**□**」を、人を励ます言葉や感謝の言葉のために使いたいですね。いい言葉、喜ばれる言葉をいっぱい使われる所には、いいこともいっぱいです。

## 身延小見聞録

8月28日（土）この日は、朝からうだるような暑さでした。朝早くから高山いまりさんのお父さんが、一人でプール横にある腐葉土置き場の腐葉土等を除去してくださいました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



腐葉土等の撤去作業の様子

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

日々の生活を通して、「学校は、ご家庭や地域の方々に支えられていること、守られていること」をしみじみ感じながら感謝の日々を過ごしています。

